

WEBアンケート結果報告

就職活動に関する調査

～希望勤務エリアの変化と意思決定の背景～

実施期間：2025年10月14日～2026年1月3日

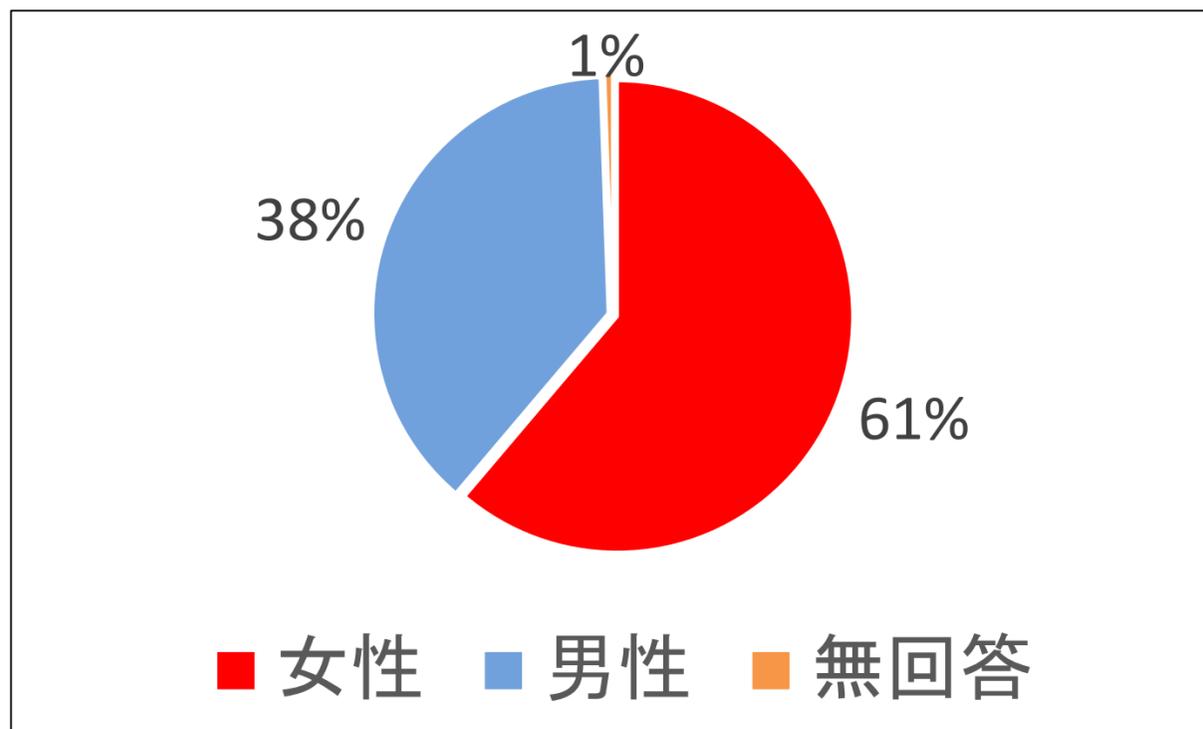
調査方法：Googleフォーム

対象：2026年卒業予定の大学生、大学院生

回答数：183

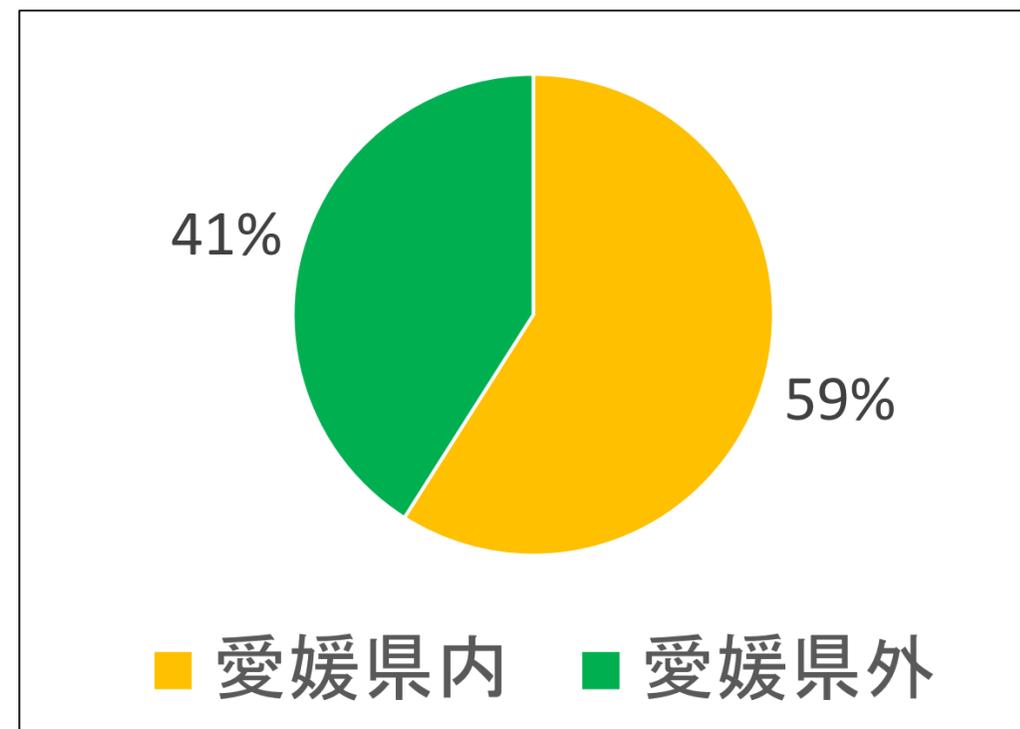
属性（性別・出身地）

性別



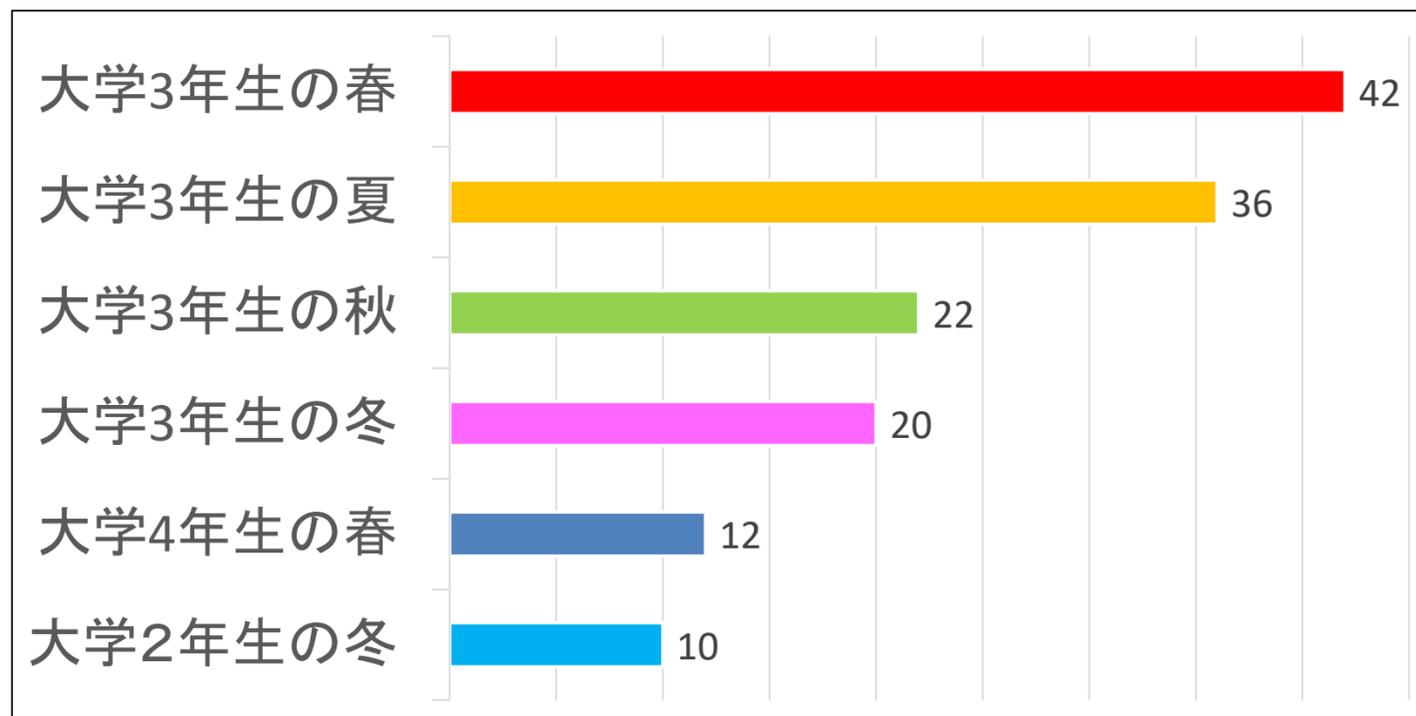
女性	112
男性	70
無回答	1
合計	183

出身地

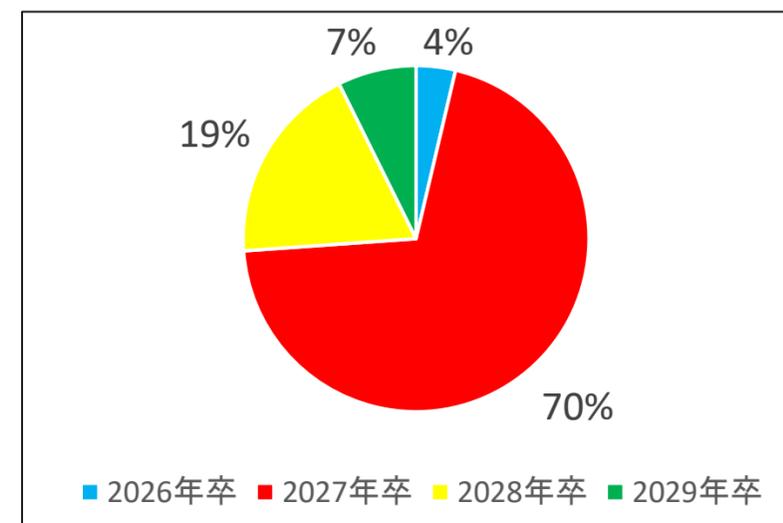


愛媛県内	108
愛媛県外	75
合計	183

就職活動スタート時期（全体）



（参照）2025年12月28日開催 シゴト発見フェス参加者（学生）



2026年卒	9
2027年卒	172
2028年卒	46
2029年卒	18
合計	245

- 大学3年生の春が最も多い
- 夏・秋・冬と、**大学3年生**の時期に開始する学生が中心

シゴト発見フェスでは
参加学生のうち26%は1・2回生

希望勤務地の変化（愛媛県出身：108）

就職活動スタート時期

愛媛県	60
決まっていなかった	13
首都圏	10
エリアにこだわりはなかった	10
関西圏	9
その他	6

内定時

愛媛県	65	+5
首都圏	13	
関西圏	10	
決まっていない	9	
四国	2	
その他	9	

希望勤務エリアが変化した人：30人

希望勤務エリアが変化しなかった人：78人

＜勤務希望エリアが愛媛県に変化した理由＞

- ・ 家族や友人の近くにいたいから
- ・ 自己分析による価値観の変化
- ・ 選考結果によるもの
- ・ 通勤、生活環境の利便性

希望勤務地の変化（愛媛県外出身：75）

就職活動スタート時期

関西圏	19
エリアにこだわりはなかった	11
首都圏	7
決まっていなかった	7
香川県	7
愛媛県	3
その他	28

内定時

関西圏	21	+2
首都圏	11	+4
香川県	10	
決まっていない	9	
中国地方	6	
愛媛県	3	
その他	60	

希望勤務エリアが変化した人：25人　希望勤務エリアが変化しなかった人：50人

<勤務希望エリアが関西圏や首都圏に変化した理由>

- ・自分のやりたい仕事、業種である
- ・休日・休暇が多い、希望の勤務地、給与水準
- ・福利厚生の充実、知名度

希望勤務地エリアが変化した理由

愛媛県出身

選考結果によるもの

家族や友人の近くにいたいと思ったから

就職活動を進めていくなかで勤務地より仕事内容を重視するようになったため

インターンシップや説明会で魅力を感じたため

自己分析を通じて働き方やライフスタイルの優先順位が変化したため

通勤や生活環境を考慮して便利だと思ったから

<愛媛県出身者>

- ・ 家族や友人との距離や生活環境の利便性など、生活面を重視

<愛媛県外出身者>

- ・ 就職活動を通じて仕事内容を重視するようになったことが特徴的

仕事内容の理解促進、企業接点の充実、生活環境情報の提供、自己分析支援を通じて、希望勤務地の意向が変化する可能性が考えられる。

愛媛県外出身

就職活動を進めていくなかで勤務地より仕事内容を重視するようになったため

インターンシップや説明会で魅力を感じたため

家族や友人の近くにいたいと思ったから

自己分析を通じて働き方やライフスタイルの優先順位が変化したため

選考結果によるもの

通勤や生活環境を考慮して便利だと思ったから

内定先を決めた決め手

愛媛県出身

- 1 自分のやりたい仕事・業種である
- 2 安定している
- 3 やりがい・はたらきがいがある
- 4 給与水準
- 5 休日・休暇が多い

愛媛県外出身

- 1 自分のやりたい仕事・業種である
- 2 給与水準
- 3 安定している
- 4 希望の勤務地だった
- 5 やりがい・はたらきがいがある

内定先の選択では、条件面だけでなく「仕事の中身」や「やりがい」が共通して重視されている。仕事の魅力を具体的に伝える工夫が求められる。

内定先を決定する際に影響した点（自由記述）から見えてきたこと

- 研究室の先輩が就職していたため
- 海外との取引や海外出張があるところ
- 地元であれば実家から通える
- 人事部の方と波長があったため
- 職場の雰囲気、女性活躍とライフワークバランスの両立
- 希望する職種であったため
- 海外研修があること
- 直感、面接官との会話が楽しかった
- 治安不安地域への赴任の有無
- 給与水準が東京の本社と同じで、事業の都合上ほぼ転勤がないと考えられるため
- 大学での研究が活かせると感じた
- 県内企業の年収の低さ、低賃金の割に労働時間が長い

■ 仕事内容・成長機会

■ 人事担当者や企業対応の印象が意思決定に影響

■ 地元・通勤・転勤など、生活面も重要な判断軸

まとめ

アンケート結果から見えてきたポイント

- 就職活動を通じて、勤務地よりも「仕事の中身」を重視する学生が増加
- インターンシップや説明会など、企業との接点が意思決定に大きく影響
- 愛媛県出身者は、地元・人とのつながり・生活面を重視する傾向
- 県外出身者は、仕事内容・成長機会・条件面を軸に勤務地を判断
- 出身地に関わらず、企業や仕事を具体的に知る機会が進路選択の分岐点

今後に向けて

- 早期から仕事の中身を伝える機会づくりが重要
- 条件面だけでなく、やりがい・成長・働くイメージの発信が有効
- 学生が自分の価値観を整理できる機会の充実が求められる